

研究主題

豊かに生きる力の育成  
～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 単元名 「わくわく2年生～1年生となかよし大きくせん～」

2 単元目標

1年生と仲良くなろうとする活動を通して、2年生になってうれしいことやわくわくすることについて考えることができ、新しくやってみたいことや楽しみにしていることがたくさんあることに気づき、自分の成長や役割が増えたことが分かるとともに、進級した喜びやこれからの自分の成長に願いをもって意欲的に生活することができるようにする。

3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）

低学年の基礎的汎用的能力（夢4）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人や社会と かかわる力  【人間関係形成・ 社会形成能力】	・自分の思いを友達に 伝える力		①入学した時の自 分の気持ちと比較 しながら、新し い1年生の気持 ちを想像し、 友達と関わり方 を話し合ってい る。	①1年生の興味・ 関心に応じて、 一緒に遊んだ り、学校を案内 したりしよう としている。
自分を みつめる力  【自己理解・ 自己管理能力】	・周りから良いところ を教えてもらい、自 分のよさに気付く力	①自分が1年生と 関わったこと で、1年生が喜 んでくれたこと や、自分のよさ や成長に気付い ている。		
課題を やりぬく力  【課題対応能力】	・自分のめあてをもつ て実行する力			②1年生の立場 になって、1年 生が喜びそう なことを友達 に話している。
次に つなげる力  【キャリア プランニング能力】	・自分の課題に気付 き、次に生かそう とする力		②2年生になっ て、楽しみにし ていることや、 やってみたいこ とを思い起こし て、友達に話し ている。	③これからも、1 年生と仲良く したいという 思いをもとう としている。

※キャリア教育と関連が密接なものはゴシック体・太字

## 4 部会提案

### (1) 児童の実態と単元観

4月中旬に行った「1年生と交流会」の振り返りでは、1年生と初めて関わり自分たちの伝えたいことが思ったよりうまく伝えられずに困ったという児童が多く見られた。

本単元は、生活科の内容(8)生活や出来事の伝え合いと(9)自分の成長の2つを関連させて単元の構成を行った。学校探検という活動を通して、1年生のことを想像したり伝えたいことを選んだりすることができるようになり、進んで関わろうとする態度を育てるとともに、1年生との交流を通して自分自身の成長に気付かせ、これからの学習・生活の意欲につなげることをねらいとしている。キャリア教育の視点では、「自己理解・自己管理能力」を中心に捉え、本単元を通して、自分の成長を実感し、自分のよさに気付くことができるようにした。自分自身の成長を具体的に感じることができるよう、振り返りでは、「夢4」の観点から「どんな力がついたのか」を考えさせ、自分のよさに気付けるようにした。

### (2) 低学年の目指す児童像

#### 挑戦 (try)

挑戦し、自分の「できる」を見付ける子ども

### (3) 目指す児童像を実現するための手だてと関連する夢4

<p>【手だて1】: 意欲的に活動しようとする主体性(=挑戦)を引き出すために</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○<b>児童の思いや願いを大切にした単元計画の工夫</b> 教師が学習活動を一方的に決めるのではなく、児童の思いや願いを基に活動計画を立てることで児童一人一人の「やってみたい」という主体性をもたせる。</li><li>○<b>年間を通して、繰り返し1年生との交流の活動を取り入れる</b> 学校探検、生活科見学、ミニフェスティバル等、年間を通して1年生と交流する活動を取り入れることで、1年生の立場に立って考え、「1年生のために自分ができること」を見付けすすんで交流しようとする態度を育てる。</li></ul>	<p>【夢4】</p>  
<p>【手だて2】: 自分のよさ(=自分の「できる」「できた」)に気付かせるために</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○<b>夢4の観点からの振り返り</b> 学校探検の振り返りのワークシートに「自分で身についたと思う夢4」の力を振り返り、色を塗れる場所を作ることで、自分の成長を夢4の力と結び付けて、具体的に実感できるようにした。</li><li>○<b>星カードの活用</b> 振り返り(できたことや頑張ったこと)を星カードに書き、発表することで自分の成長を自覚できるようにした。また、授業の後に全員のカードを教室に掲示することで、児童の成長を視覚化する。キャリア教育に関係する学習や行事で年間を通して星カードの活用と掲示に取り組むことで、自分のよさをたくさん見付け、成長を実感できるようにする。</li><li>○<b>生活科ノート</b>の活用 振り返りをノートに書き溜めておくことで、成長を振り返られるようにする。振り返りは、「明日へつなぐ自分たんけん」の自身の成長についての単元で活用できるようにする。</li></ul>	<p>【夢4】</p> 

5 指導計画（全10時間）

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	【評価規準】 基礎的・汎用的能力
学習課題をつかむ	1	春だ！今日から2年生！～2年生になって、どんなことがしたいかな？～	<p>○2年生になって、楽しみにしていることややってみたいことをノートに書き出す。</p> <p>○ノートに書いたことをグループで共有する。</p> <p>○全体で共有し、これからの生活科の学習の見通しをもつ。</p>	<p>◆<u>数名の児童に2年生になって頑張りたいことを発表させ、「1年生と」「生活科」という視点を引き出す。その2つを中心にやってみたいことを考えさせる。</u></p> <p>◆自分の考えを広げたり、友達の良い考えを付け足したりできるように、ウェブマップを使ってノートに書かせる。</p> <p>◆ウェブマップを活用し、児童の発言が広がるように可視化して板書することで、やってみたいことをより具体的に考えたり、どんなことができそうかという見通しをもたせたりする。</p>	<p>【思・判・表②】</p> 
	2・3	1年生となかよし大きくせん～1年生にどんなことができるかな？～	<p>○入学した頃の気持ちや、1年生の時に自分がしてもらって嬉しかったことを思い出し、みんなで話し合う。</p> <p>○1年生のために自分たちができることを考え、ノートに書く。</p> <p>○ノートに書いたことをグループで共有する。</p> <p>○全体で共有し、これから活動することを決める。</p>	<p>◆入学して「不安だったこと」「嬉しかったこと」を整理して板書することで、1年生のために自分ができること、やってみたいことを具体的に考えることができるようにする。</p> <p>◆板書から「<u>1年生が早く学校に慣れて楽しく生活できるようになるために</u>」という視点を引き出し、その視点で自分たちができることを考えさせる。（自分のしたいことにならないように留意する。）</p> <p>◆「<u>1年生が早く学校に慣れて楽しく生活できるようになるために</u>」という視点から、<u>学校探検の必要性に気付かせ、引き出す。</u></p>	<p>【思・判・表①】</p> 
高める					

4 ・ 5 ・ 6	1年生となかよし大きくせん～学校を案内する計画を立てよう～	<p>○1年生に学校の中で案内したい場所を考え、ワークシートに書く。</p> <p>○全体で交流し、案内する場所を決める。</p> <p>○学校探検のために必要なものを考えて準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の説明文</li> <li>・グループの目印の名札</li> </ul> <p>○学校探検の流れや約束事を確かめる。</p>	<p>◆案内したい場所を明確に決めるために、案内したい場所や、その場所で見せたいもの、なぜ案内したいのか理由を書けるワークシートを用意する。</p> <p>◆<u>交流を通して、同じ場所でも見せたいものや選んだ理由がいろいろあることに気付かせ、学校を案内したいという気持ちを高めさせる。</u></p> <p>◆学級によって差が出ないように、学年の中で話し合いの結果を擦り合わせ、案内する場所を調整する。(児童にもそのことを伝えておく。)</p> <p>◆どの児童でも説明ができるように、教室の説明文は必要最低限の内容は共通で作成し、自分が伝えたいことを加えるようにする。</p> <p>◆メダル作り・名札作りは図工科との関連で行う。</p> <p>◆なぜ守らないといけないのかを考えさせ、2年生として行動する自覚をもたせる。</p>	【主②】 
7 ・ 8	1年生となかよし大きくせん～学校を案内しよう～	○学校探検を行う。	◆ <u>1・2年生全クラス合同の縦割り班で行う。交流が深められるように、1・2年の交流は年間を通して縦割り班で行う。</u>	【主①】 

<p>深める</p>	<p>9・10 (本時)</p>	<p>1年生となかよし大さくせん～学校をあんないする計画を立てよう～</p>	<p>○「学校をあんないしたよ！」カードを書き、1年生の様子や1年生との関わりについて振り返る。</p> <p>○一人一人の振り返りを星カードに記入し、みんなに紹介する。</p> <p>○全員の振り返りを価値付けた後、これからもっとやってみたいことを考える。</p>	<p>◆<u>振り返りの視点を「1年生の様子はどうだったか(感想)と「今度はどんなことをしてあげたいか」の2つに設定し、1年生の様子や自分の関わりについて振り返ることで、自分の成長に気付くことができるようにする。</u></p> <p>◆<u>一人一人の振り返りを発表することで、自分の成長を自覚させるとともに、友達のよい考えに気付かせる。</u></p> <p>◆<u>学校探検で上手くいったことを「成長」として価値付けることで、自身の成長に気付かせ、「もっとやりたい」という意欲につなげる。</u></p>	<p>【知・技①】</p>  <p>【主③】</p> 
------------	----------------------	--	---	---	---

※波線はキャリア教育の視点

## 6 本時の学習（10時間扱いの10時間目）

### (1) 本時の目標

学校探検の振り返りを全体で共有し、「成長」として価値付けることで、自身の成長に気付かせ、「1年生との交流をもっとやりたい」と思うことができるようにする。

### (2) キャリア教育の重点

◎一人一人の振り返りを皆で聞き合う活動を通して、周りからよいところを教えてもらい、自分のよさに気付く力を育む。【自己理解・自己管理能力】

### (3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 5分	1 前時の活動を振り返り、今日の活動の見通しをもつ。 ・学校探検に行った。 ・1年生にいろんな教室を案内した。	【全体】 ・ワークシート ・発言	○スライドで写真を提示し、学校探検のことを想起させる。 ○板書に学校探検の写真を掲示し、今日振り返ることを明確にする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     学校たんけんのかんそうをつたえ合い、自分の「できた」を見つけよう。                 </div>			
展開 25分	2 一人一人の振り返りを全体で伝え合う。 ・1年生に学校のことを伝えられて嬉しかった。 ・1年生が楽しそうにしているのを見て私も楽しかった。 ・グループが離れ離れになってしまって難しかった。 ・1年生ともっと仲良くなりたいと思った。	【全体】 ・発言 ・星カードを黒板に張る。	○振り返りのワークシートをもとに、自分の振り返りを星カードに書き、全体で共有できるようにする。(前時に行う) ○ <u>一人一人の振り返りを発表することで、自分の成長を自覚させるとともに、友達のよい考えに気付かせる。</u> 
	3 学校探検の活動を通して、「どんなことができるようになったか。」を考えて、ワークシートに書く。	【個人】 ・ワークシート	○ <u>うまくいかなかったことが出た場合は、次にうまくいくための改善点を全体で考え、次につなげようという意欲につなげる。</u> ○ <u>「夢4」の中から自分に身に付いた、伸ばせたと思う力の色をワークシートに塗らせる。</u> 
まとめ 10分	4 書いたことを全体で共有する。 ・1年生にやさしく教えられたから、人とかかわる力が付いたと思う。 ・初めての顔合わせでは、緊張して上手く自己紹介ができなかったけど、学校探検では少し話せるようになった。もっと仲良くなりたい。 ・1年生ともっと仲良くなりたいというめあてができた。 ・学校探検に向けて、説明を考えたり、一緒に手をつないだり、はぐれないで紹介することができて、自分はよく頑張ったなと思った。	【全体】 ・発言	● <u>自分が1年生と関わったことで、1年生が喜んでくれたことや、自分のよさや成長に気付いている。</u> 【知・技①】 ● <u>これからも、1年生と仲良くしたいという思いをもとうとしている。</u> 【主③】  ○全体共有の後、「成長した姿」を教師が価値付けることで、自分自身のよさや成長に気付かせる。

※波線はキャリア教育の視点

## 7 板書計画



## 8 実践を終えて

### 成果

- ・自分が1年生だった時の経験を振り返り、1年生の思いを想像しながら学校探検の活動に取り組んだことで、振り返りでは「1年生が楽しそうで私もとても嬉しくなりました。」「1年生が『学校のことがよく分かった。』と言ってくれて、一生懸命頑張って準備してよかったと思いました。」のように、1年生の姿から、人のためになる喜びや成長を感じている様子が多く見られた。
- ・星カードを活用することで自分の成長を視覚化し、実感することができた。また、それを張り出すことで自分一人だけでなく、友達や学級としての頑張りも実感することができた。そのため、キャリア教育を通して育みたい力である、周りからよいところを教えてもらい、自分のよさに気付く「自己理解・自己管理能力」を養うことにつながった。今後もキャリア教育に関する学習や行事の後にも星カードを活用して振り返りを行うことで、自分や学級の成長を感じられるようにしていく。
- ・1年生との交流活動を通して、次はもっと1年生となかよくなりたい、関わりたいという思いをもった児童が多く、次の生活科見学では「笑顔で話をしたい」「1年生に合わせて歩きたい」など1年生のことを考えて行動しようとする姿が見られ、自分の課題に気づき、次に生かそうとする「キャリアプランニング能力」につながった。

### 課題

- ・他学年との交流の経験が不足していることから、1年生との実際の交流場面では、1年生とどのように関わったらよいのか分からずに困っている児童が多く見られた。初めての顔合わせ集会ではうまく関われなかった児童も、2回目の学校探検では1回目よりもよりよく関われたと感じることができた児童が増えた。また、「もっと1年生と関わりたい。」という思いをもった児童も多かった。1年間の学習の中で、他学年と交流する経験を繰り返し取り入れることで、「人間関係・社会形成能力」が育まれ、自分の自信にもつながると思われる。